

第3回北川村保小中一体化施設整備基本計画検討委員会 議事録

開催日時	令和7年12月15日(月)18:30～20:15
開催場所	北川村民会館 大ホール(オンライン併用)
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 委員 岡宗委員、橋本委員長、山崎委員、熊瀬委員、土居委員、百々委員、井津(文)委員、田所委員、稲毛委員、有光委員 ■ アドバイザー 長岡アドバイザー、岩城アドバイザー、野島アドバイザー ■ GPMO 神原、成松、山内 ■ 事務局 濱渦教育次長、堂脇次長補佐、堅田次長補佐、植田主任主事
議題	(1)開会 (2)前回内容の確認について (3)北川村の新しい学び舎の在り方について (4)その他進捗報告 (5)次回の検討委員会について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議事次第 ・資料1 第2回北川村保小中一体化施設整備基本計画検討委員会議事録 ・資料2 北川村の新しい学び舎の在り方 ・参考資料1 保育・教育施設の現況(図面) ・参考資料2 北川村保小中一体化施設整備基本計画 目次・論点 ・参考資料3 北川村保小中一体化施設整備基本計画 検討スケジュール

議事経過	(1)開会 【事務局】 議事次第に沿って会議を進行する旨を説明。なお、井津信廣委員は欠席。
------	---

議事経過	(2)前回内容の確認について 【事務局】 【資料1】に基づき説明。 委員に対し自身の発言内容の確認と追記・修正があれば申し出るよう依頼。 →特に異論がなかったため、【資料1】を概要としてホームページに掲載する旨報告。
------	--

議事経過	(3)北川村の新しい学び舎の在り方について 【事務局】 【資料2】に基づき、北川村の新しい学び舎の在り方について説明。 【野島アドバイザー】 具体的な空間イメージについて先進事例を紹介(スライドによる説明)。 (ヒント集) ・教室まわりを考えるヒント
------	--

授業を受ける場から学ぶ意欲が沸く場へ
常に緊張する場からリフレッシュできる場へ
教える場から学ぶ場へ

・図書館を考えるヒント

何時でも開かれている場所
思い思いにゆったりと過ごせる場所
つながる場所／心を支えるサードプレイス

・特別教室・運動施設を考えるヒント

「本物」が体験できる実習空間
教科の枠組みにこだわらない、創造的な活動を促す環境
時間を忘れて、熱中できる創作空間

・職員スペースを考えるヒント

同僚性を高める環境
リフレッシュ空間
ABW(Activity Based Working)

・保育・幼児教育を考えるヒント

五感を育む
遊びが選べる／遊びが発見できる
保護者の交流・子育て支援

・地域と学校を考えるヒント

場を共有すること
混ざり合うこと
支え合うこと

上記を踏まえ、GPMO進行の下、下記テーマについて意見交換を実施。

(テーマ)

- ・保育園から中学校までの子どもたちが日常的につながって遊び・学べるようにするためには、どんな園舎・校舎が必要か。
- ・村の子どもと村民、他の地域の方々が集い、学び、一緒に活動できるようにするためには、どんな場所・機能が必要か。

【グループ1】岡宗委員、熊瀬委員、土居委員、井津文委員、長岡AD

●学校内での交流と、地域との交流に焦点を当てて議論。

- ・できるだけ壁のない校舎、又は可動式の壁で柔軟に対応できるスペース。
- ・地域との交流を考えるとバリアフリーが必要。
- ・小中学生が教室に向かう導線上に保育園があり、様子が見える構造。
- ・逆に、保育園児が小中学生の体育や音楽の授業を自然に見学できる構造。
- ・共有スペースには、図書館や高齢者のサロンのような場所など、地域住民が自由に出入りできる場所。地域住民と児童生徒が日常的に顔を合わせることで、関係性が深まり、親しみが生まれるのではないかな。
- ・例えば、地域住民が集まれる図書館を中心に空間をつくっていくと、敬老会や運動会

	<p>の時に自分の子どもがいなくても見に行くなど、地域との交流が進むのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方で、交流拠点については、繋がりたい人も、繋がりにくい人もいるため、それぞれのニーズに合ったスペースが必要、という意見もあった。 <p>【グループ2】橋本委員、田所委員、稲毛委員、野島AD</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保小中連携のためにどんな園舎・校舎が必要か？を中心に議論。 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の旧態依然とした造りではなく、保・小・中がコンパクトに、日常的に繋がれるような空間。 ・センターホールを備えた、仕切りの少ないスペースや、日常的に保育所・学校の子どもの活動が(お互いの)視界に入るオープンなスペース。 ・子どもと村民の交流に活用できる、できれば平日も利用可能な図書館。 ・何より、少人数であっても、子どもたちは多様な性格を持っているので、ハード面に加え、多様性に配慮した教育方法が大事ではないか。 ・ハード面、ソフト面ともに、ストレスのない環境づくりが重要で、例えば、仕切りのないスペースや、時には逃げ込めるようなスペースを備えてはどうか。 <p>【グループ3】山崎委員、百々委員、有光委員、岩城AD</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが日常的に繋がるにはどんな工夫が必要か？にテーマを絞って議論。 <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢間の交流が行事だけでなく、いろんな場面で作れるよう、例えば、運動場、図書室、プール、給食室など、活動の場を共有し、自由に行き来できる空間が必要。 ・一方で、安全面の配慮として、大人が関わる場合には特定の日時・行事内容を知らせる仕組みを設けるべき、という意見があった。 ・保小中が一体的な教育を推進するためには、子ども・学校と地域との連携が必要不可欠。15年間の子どもの成長をみんなで協力して支える仕組みのほか、子どもが育っている様子(発表会など)を見られる空間が大事。共用できる空間を大事にすれば、自然発生的に新しいことが生まれてくるのではないか。 ・遊具を大きくするなどして、他の地域の子どもも自由に来られる環境づくりとしてはどうか。
議事経過	<p>(4)その他進捗報告</p> <p>【事務局】</p> <p>下記のとおり開催を予定。随時報告したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●村民向け 新しい学び舎づくりワークショップ 12月20日(土)13時から開催予定。 ●保護者向け 保小中一体化に向けた意見交換会 12月19日(金)19時から開催予定。 ●子ども向け 新しい学び舎づくりワークショップ 来年1月19日(月)、20日(火)開催予定で、現在調整中。

議事経過	<p>(5)次回の検討委員会について</p> <p>【事務局】</p> <p>次回(第4回)は1月19日(月)18時30分～北川村民会館大ホールで開催予定。</p> <p>第5回は3月4日(水)、予備日は同月18日(水)を予定。なお、最終回(第6回)は4月13日の週に開催予定(詳細は年明けに決定したい。)。</p>
------	---